

## ● 2013年7月

- 2013/07/28 中ネ軍事協力，さらに強化
- 2013/07/26 139 党の競宴：制憲議会選挙
- 2013/07/25 極左・極右共闘へ：CPN-M と RPP
- 2013/07/23 ネット選挙運動規制の大いなる錯誤と危険性
- 2013/07/22 プラチャンダ独裁体制か？
- 2013/07/21 中印国境紛争とネパール
- 2013/07/20 女兒選別中絶の拡大
- 2013/07/18 バブラム・バタライ，名誉職の不名誉な駆け引き
- 2013/07/17 京都の米軍基地(12)：早期受け入れ要請
- 2013/07/11 印外相，訪ネ9時間の意味深
- 2013/07/09 バブラム・バタライ，UCPN 副議長辞任表明
- 2013/07/06 京都の米軍基地(11)：議会審議(6月20, 21日)
- 2013/07/05 京都の米軍基地(10)：議会審議(6月7, 19日)
- 2013/07/01 信号機かロータリーか：ネパールとスイス

## 野生動物軍団と専守防衛農業

丹後の村は盛夏，野山に生命があふれ躍動している。動物たちも元気だ。

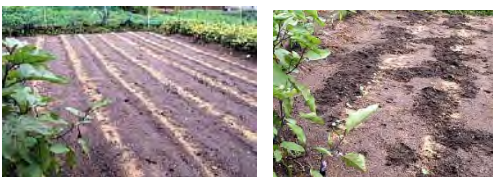
クマは桃の木に登り桃色に熟した実をほおぼり，イノシシは牙でサツマイモを掘り起こし，一家で食べ尽くす。やがて秋になれば，猿軍団が山から下りてきて，庭の柿の木に登り，柿を食べてしまうだろう。コメも野生動物たちの好物だが，さて今秋はどうなることやら。

日本国民は，北方某国など，外国に対しては，防衛には先制攻撃が必要だなどと勇ましいが，自国農業についてはもっぱら専守防衛，[欧米の「動物の権利」擁護団体](#)から表彰状がもらえそうなほど平和主義に徹している。

日本農業は，TPP 以前に，野生動物連合軍の波状攻撃で崩壊するのではないだろうか。



■イノシシにより一夜で壊滅したサツマイモ畑。国道側。電気柵も効果なし。(2013.7.28)



■自宅横の畑(防獣網設置)。イノシシによりサツマイモ壊滅後，小豆を播き，芽が出た(2013.7.28)。撮影日夜，今度はタヌキかアライグマに掘り起こされた(2013.7.29)。

2013/07/31 12:26

カテゴリ: [社会](#), [経済](#)

タグ: [獣害](#), [高齢化](#), [農業](#), [動物の権利](#), [丹後](#)

## 京都の米軍基地(13):「Xバンドレーダー体制」の危険性

### 1. 京都府, Xバンドレーダー容認へ

京都新聞(7月30日)によれば, 京都府の山内副知事は29日, 米軍Xバンドレーダー設置に「特に問題はない」とする, いわゆる「専門家」の意見をふまえ, 「電磁波については心配はいらぬのかなと感じている。内容が詰まってきた」と述べた。

京丹後市議会も, 先述のように, [22議員\(議長1名\)中の17議員が早期受け入れ要請書を提出しており](#), 副知事の今回の容認発言により, 京都府が近々米軍基地受け入れの最終決定をするのは避けられない情勢になってきた。

### 2. 与件前提の科学的判断

問題はいくつもある。諮問委員会等の, いわゆる「専門家」が, 権力の意思に沿うよう選任され, 期待通りの答申を出すことは, 原発等々で, その実例をいやというほど見せつけられてきた通りだ。いまや国民の多くは, いわゆる「専門家」は信用ならない, と考えている。これは, 国民が生活を守るための健全な常識的判断だ。

いわゆる「専門家」は, 誰かにより「[与えられた条件\(与件\)](#)」の下で安全性を判断する。これは科学であり, 途中の処理に誤りさえなければ, その限りでは科学的に正しい。あるいは, 蓋然性が極めて高い。しかし, いわゆる「専門家」の科学的判断は, 与件の正しさを証明するものではない。

Xバンドレーダーが, その典型。いわゆる「専門家」は, 極秘中の極秘, 軍事機密の塊のようなXバンドレーダーの核心部分の情報を教えられてはいない。出力はたぶんこの位であり, たぶんこのような方法で設置され運用されるであろう, という根拠なき推測に基づき, 「科学的」安全判定をしたにすぎない。

### 3. 科学的判断の政治的利用

ところが, 権力側は, いわゆる「専門家」の限定付きの科学的安全判定をえると, 限定付きを棚に上げ, たとえばXバンドレーダーの安全性が科学的に証明されたと宣伝し, 反対派を非科学的, 無知蒙昧といって非難する。

しかし, 真に科学的なのは, 与件の妥当性をも疑う反対派の方である。私たちの常識は, 北朝鮮はおろか中国奥地までも探知しうるXバンドレーダーが, 数十メートル, 数百メートルの近くの自宅や田畑, 路上や船上にいる人々に, 短期的あるいは長期的な影響を与えないはずがない, と警告している。この常識は健全である。

### 4. 「Xバンドレーダー体制」による監視

しかし, Xバンドレーダーの危険性は, むしろ精神に対するものだ。権力は, Xバンドレーダーの議論が電磁波の身体への影響に向かうよう世論を巧みに誘導し, いまや, いわゆる「専門家」の安全判定により, 少なくとも京丹後市議会や京都府議会の了承をほぼとりつけた。

これも問題だが、もっと議論されるべきは、むしろ「Xバンドレーダー体制」の「精神的Xバンドレーダー」が地元住民を照射し、その頭の中、心の中を映し出し、分析・評価し、記録・保存する危険性だ。

Xバンドレーダーは、単なる電子機器ではない。Xバンドレーダーは、それを運用する制度、人員を含めた一つの社会的・政治的システムとして設置される。この統合的システムとしての、いうならば「**Xバンドレーダー体制**」が、住民を監視し、調査・分析し、結果を記録・保存するのだ。

## 5. 破壊工作と内通者探知

Xバンドレーダーは、米日同盟軍の最も重要な目の一つだから、北の某国や某々国はつねにその能力を探り、場合によっては、よく訓練された工作船やスパイを経ヶ岬付近に送り込む。彼らはプロだから、作戦実行に当たり、内通者確保など、ありとあらゆる周到な現地工作を行う。

「Xバンドレーダー体制」は、当然、この事態を想定し、あらゆる予防、防衛体制を整える。スパイや内通者はどこにいても不思議ではない。しかも、すぐそれと分かるようなスパイや内通者は役に立たないから、彼らは通常人民の大海の中に密かに潜んでおり、少々のことでは見分けがつかない。

そうした危険なスパイや内通者を見つけ出すには、住民1人1人の頭の中、心の中をくまなく照射できる強力で精緻な「**精神的Xバンドレーダー**」が必要である。米軍や自衛隊の情報部隊、政府の公安諸機関、そして警察公安などである。

## 6. 一般住民監視のための「Xバンドレーダー体制」

権力の本性は猜疑心であり、つねに反対派を「非国民」、あるいは内通者シンプないし予備軍とみなし監視する、抜きがたい習性をもつ。

いま地元でXバンドレーダー反対闘争を議会において公然とやっている政党勢力は、日本共産党だけだ([共産党議員質問 6月19日](#), [6月20日](#))。しかし、共産党の議員や党員は、いわば人民の大海の上に浮かんでおり、「精神的Xバンドレーダー」を使うまでもなく、容易に把握できる。その意味では、共産党員は、権力にとって、さしたる脅威ではない。

そうではなく、「精神的Xバンドレーダー」が必要なのは、健全な常識により「危ないのでは」と考え、共産党の反対運動に同調したり、あるいは独自に反対活動をしたりする一般住民である。

彼らは、人民の大海の中で他の人々と混在しており、容易に見分けがつかない。だから、Xバンドレーダーが経ヶ岬に設置されたら、同時に設置される「精神的Xバンドレーダー」の探知波を住民一切切に照射し、その超高性能の解像能力により住民1人1人の差異を解析し、各人の危険性を算出し、どの程度監視するかを決めるのだ。

## 7. 産軍官学共同体の思うつぼ

この種の住民監視は、米軍基地や自衛隊基地があるところでは、多かれ少なかれ、どこでも日常的に行われている。秘密を重視する「暴力装置」としての軍隊は、そのようなものなのだ。

京都府議会や京丹後市議会では、Xバンドレーダーと電子レンジはどちらが危険かといった、権力が用意した与件下の議論に終始し、「Xバンドレーダー体制」ないし「精神的Xバンドレーダー」の危険性については、ほとんど議論されていない。

日米の産軍官学共同体の思うつぼだ。してやったりと、ほくそ笑んでいるにちがいない。

谷川昌幸(C)

2013/07/30 14:57

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#)

タグ: [スパイ](#), [監視](#), [科学](#), [米軍](#), [経ヶ岬](#), [自衛隊](#), [Xバンドレーダー](#), [公安](#), [共産党](#), [内通者](#), [専門家](#), [常識](#), [情報機関](#), [与件](#), [京丹後](#)

## 中ネ軍事協力, さらに強化

人民日報(7月24日)など各紙報道によれば、ネパール国軍ラナ総監は、1週間の公式訪問において、中国人民解放軍の房峰輝総参謀長(中央軍事委員会委員)らと会談し、両国間の軍事協力促進で合意した。

中国はすでに2011年、770万ドルの対ネ軍事援助を約束。今回は、その着実な実行とともに、両国軍幹部の交流や将兵教育訓練協力の促進が約束された。

ネパール側は、「一つの中国」支持と、ネパールにおける「反中国活動」取締りを約束し、中国側はこれを高く評価した。

これを見ても分かるように、中国は外交巧者。最近の日本も、軍事ではなく外交で中国に負けていると反省すべきだろう。



■米中「接近」(PLA Daily)

谷川昌幸(C)

2013/07/28 15:26

カテゴリー: [軍事](#), [外交](#), [中国](#)

タグ: [チベット](#), [軍事援助](#), [一つの中国](#)

## 139 党の競宴: 制憲議会選挙

制憲議会選挙(11月19日予定)のための政党登録が進められている。選管審査項目は、党選挙公約、党則、党旗、党選挙シンボル、そして新党の場合は1万人以上の署名、など。

党選挙シンボルは、既存政党には従来のものをそのまま認め、新党には新しいシンボルが割り当てられる。

### ▼[政党の選挙シンボルマーク](#)

それにしても、139 党とは豪勢なものだ。日本など足元にも及ばない。前回制憲議会選挙では、75 政党が登録し、54 党が選挙に出た。今回はどうなるのだろう。

いずれにせよ、多種多様な諸政党が華やかな競宴／競演を繰り広げることは間違いない。もともと、狂宴は御免被りたいが。

谷川昌幸(C)

2013/07/26 13:56

カテゴリ: [選挙](#), [政党](#)

タグ: [シンボルマーク](#), [制憲議会](#)

## 極左・極右共闘へ:CPN-M と RPP

極左派の共産党毛派(CPN-M)が、極右派のギャネンドラ元国王・国民民主党(RPP)に接近し、主流派(UCPN-M, NC, CPN-MUL)に対する共闘を呼びかけ始めた。日本と同様、極左と極右は、磁石の両極のように引き合うものらしい。



■「国王」フェイスブック

### 1. CPN-M, 元国王へ共闘呼びかけ

バイダ(キラン)CPN-M 議長は、こう述べている。

「この国の主権と国民統合を守るため、元国王をはじめナショナリストと協力することが必要となった。」

「元国王が、われわれのナショナリズム強化闘争に参加するというのがあれば、歓迎するが、われわれの共和制・世俗制・連邦制政策については譲歩するつもりはない。」(Telegraph, Access:Jul.24)

この考えは、CPN-M の他の幹部、たとえば NB. チャンド(ビブラブ)らも表明している。CPN-M は、すでに元国王側と接触しているという(Ibid)。

バイダ CPN-M 議長は、つい先日、印外相訪ネにあてつけ、前夜に中国に発ち、中国高官と懇ろに会談してきたばかり。バイダ議長は、ネパール内政については何も言われていない、中国にはネパール内政干渉の意思なし、と述べているが、果たしてどうか？ もともと中国と歴代国王は仲良しだったのだ。

### 2. NC 内の王制懐旧感情

王制への懐旧感情は、 kongress党(NC)内にも生まれつつある。BP. コイララの息子で NC 幹部のシャシャンク・コイララ(Shashank Koirala)は、BBC インタビュー(7月19日)において、こう述べている。

「王制を廃止し共和制にしたのは、大きな誤りであった。2006年、人民が抗議のため街頭に出たとき、事態を統制するBPのような指導者は1人もいなかった。世俗制と連邦制をほとんどの政党が考えてはいたが、政策として明確に共和制国家を掲げていたのは、マオイストだけだった。王制廃止は、マオイスト側から出されたものだった。」(Nepali Times, Jul.21)

### 3. RPPの王制ナショナリズムの訴え

このようなCPN-MのラブコールやNC内の王制懐旧感情の高まりは、王制派にとっては、もちろん大歓迎だ。カマル・タパ国民党(RPP)議長は、こう述べている。

「BP. コイララの息子で कांग्रेस党幹部のシャシャンク・コイララは、王制廃止は失敗だったと語り、またCPN-M幹部たちも元国王とナショナリスト諸勢力はネパール・ナショナリズム強化のため協力すべきだと述べたが、これらはいずれも評価されるべき発言である。」(Republica, Jul.23)

### 4. UCPN-Mの反撃

元国王を担ぎ出そうとするCPN-MやRPPの動きに対し、最も激しく反発しているのは、統一共産党毛派(UCPN-M)である。前首相でUCPN-M序列2位のバブラム・バタライ中央委員(先日、副議長辞任)は、こう述べている。

「CPN-Mは、ギャネンドラの手先にすぎない。革命のためといって王制派と手を組むのは、自殺行為だ。」(Himalayan, Jul.23)

あるいは、ギャネンドラ元国王が極西部諸郡で行っている洪水被害者救援活動についても、バタライ中央委員は、怒りを抑えきれず、「逮捕してしまえ」とまで主張している。

「洪水被害住民へのギャネンドラの救援活動は、扇動であり、選挙を妨害するための策略である。在任中なら、彼を投獄していただろう。(彼の地方歴訪は)1990年憲法を復活させること……(が目的である)。」(Himalayan, Jul.23)



Himani Trust is a service oriented and a non-profit organization. It has been established with noble objective of providing social services to women, youth, old people and children who are deprived of their both rights and claims.

It utilizes the local resources and means working in close relations with the local units. Himani Trust commits to promote spiritual knowledge, education, health, social and economic development. It assists any unit inside Nepal working in health related sector and participate in its activities to make it successful. Besides, it

■洪水被害救援をしている王族 NGO「Himani Trust」

### 5. 王制復古の可能性

2006年革命後の共和国政党政治の「失敗」により、革命以前の1990年憲法体制の再評価の機運が少しずつ高まりつつある。

しかし、いまのところ、その動きは最左翼のCPN-Mと最右翼のRPPの結託、あるいはより直截的に言うならば「野合」で進められており、その限りでは成功の可能性は少ない。

しかしながら、S. コイララのような考え方がNCやUMLの中に広まっていくなら、王制復古もあり得ないことではない。投票で王制を廃止したのだから、投票で王制復古を決めてもよいわけだ。またまた、世界が、アッと驚くであろうが。

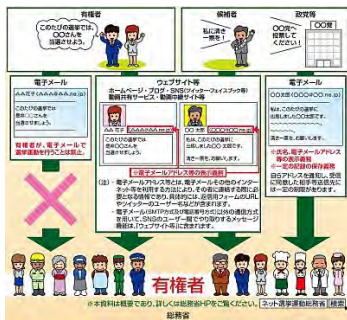
谷川昌幸(C)

2013/07/25 10:18

カテゴリー: [マオイスト](#), [国王](#), [政党](#), [中国](#)

## ネット選挙運動規制の大いなる錯誤と危険性

インターネットやメールはド素人。スマホもラインも未経験。それでも、ネット選挙運動規制には苦笑を禁じえない。いや、それどころか、正直、恐怖さえ感じる。



■ [総務省インターネット選挙運動 HP](#)

1

そもそもインターネットは、蜘蛛の巣の無法地帯。国境も大人・子供もあったものではない。NSA は覗き放題、企業は個人情報ただ取り大儲け。メールアドレス偽造など、小学生でもやっているという。そのインターネット世界を、総務省・選挙は国内法で細々と規制するという。バカバカしい。

こんな時代錯誤の法規制で処罰されるのは、ネット選挙運動参加を試みる善意の市民だけ。もともと日本の選挙は、がんじがらめの「べからず選挙」。「改正公職選挙法」も同じこと。善意の市民の健全な常識では、なにが選挙違反になるのか、見当もつかない。恐ろしくて、選挙運動には関われない。

特にネット選挙運動は危険である。NSA が覗き見しているであろうし、企業は個々人の政治的意見を様々な個人データと関連づけ、記録保存し、いつでも顧客に提供できる態勢を整えているであろう。〇〇党支持者には白系スーツ、△△党シンパには赤かピンクのスーツ等々。

また、米英の足元にも及ばないであろうが、日本の各種「情報機関」も、国民個々人の政治的態度を知りうるのだから、こんなおいしい情報源をほおってはおくまい。自前で、あるいは企業に依頼し、市民のネット・メール選挙運動を監視し、記録保存しているにちがいない。

市民にとってネット選挙運動が危険なのは、第一に、何が違法なのかよく分からないこと、第二に、ネット世界に発信した情報は、そのまま、あるいは何者かに加工され、何者かに記録保存され、イザッというとき、動かぬ証拠として利用される恐れがあること。

2

たとえば、これが違法かどうかよく分からないが、選挙期間中の7月14日、The Times of India(ネット版)をみると、こんな選挙広告が出ていた。

Ads by Google



DELHI

Jail better than expected: Arundhati

March 7, 2002 | TNN

new delhi: "it was hundred times better than what i expected it to be. it was an incredible experience," booker prize winner arundhati roy said on thursday about her day behind the bars in tihar jail. roy was sent to jail following the supreme court verdict against her in a contempt of court case, about her decision to pay the rs 2,000 fine, which if not paid would have earned her another three months in prison. roy said: "i didn't want to become a martyr to the cause that is not mine alone."

### ■辻泰弘候補の選挙広告(The Times of India, Jul.14)

おそらく記事連動あるいは検索連動広告であろう。検索語は「Arundhati Roy」。インドのマオイスト・シンパで、超過激派。記事は2002年3月7日付の「刑務所は思ったより悪くなかった」。ロイが、最高裁の法廷侮辱罪判決によりティハール刑務所に投獄された時のことを書いたものだ。

つまり、グーグルかどこかが、おそらく民主党の辻泰弘候補をインド過激派のアルンダティ・ロイと関連づけ、ここに表示したのだろう。(そうでなくても、ここにこう表示されれば、多かれ少なかれ、読者はロイとの関連づけと感ずる。)これは何を意味するか？ 辻候補にとって、それは選挙にどのような影響を及ぼしたのか？

あるいは、うっかりコピーし損ねたが、このページの下方には、あられもない半裸女性が出ていたが、ひょっとすると辻候補はこの半裸女性と関連づけられていたのかもしれない。もしそうだとすると、このインターネット選挙広告は、辻候補の選挙運動にとって、ロイとの関連づけ以上に大きな影響を及ぼした可能性がある。

おそらく民主党・辻泰弘候補は、自分のネット選挙広告がこのような使われ方をしていることは知らなかったであろう。

### 3

ことさように、インターネットもメールも、いいかげんであり、コントロール不能であり、危険なのだ。それを総務省・選管は、日本国内法で細々と規制するという。しかし、そんなことは不可能だ。

もちろん、立法者も総務省・選管も、それは十分承知の上だ。わかった上でこのような規制をするのは、おそらく、イザツというとき、権力にとって都合の悪い人物を、瞬時に見つけ出し、しよつ引くためであろう。ネットやメールをつかえば、データは半永久的に残る。権力にとって、こんな好都合な道具はあるまい。

ネットやメールは、いったん使用すれば、あとでそのデータが誰に、どう利用されるか、まったく分からない。ほとんどの人のほとんどのデータは見過ごされるが、イザツというとき、利用記録が命取りとなる危険性は誰にでもある。善良な市民は、ネット・メール選挙運動などには手を出さない方が、賢明であろう。

谷川昌幸(C)

2013/07/23 15:52

カテゴリー: [選挙](#), [情報 IT](#)



## プラチャンダ独裁体制か？

統一共産党毛沢東派(UCPN-M)は、7月21日の拡大中央委員会で、第7回党大会(2013年2月、ヘタウダ)における副議長(バブラム・バタライ, NK. シュレスタ), 書記長(PB. ボガティ)等の人事を白紙に戻し、「議長(プラチャンダ)―中央委員会」の指導体制とした。バタライも中央委員の一人となり、名誉職就任はなし。



■ マオイスト・トロイカ(UCPN-M HP)

これは形式的にはプラチャンダ独裁体制だが、彼自身は「集団指導体制」とすると繰り返し説明している。あるときは、8月27日に中央委員会を開催し、前役職者ら17人からなる常任委員会のようなものをつくといい、またあるときは制憲議会選挙(11月19日予定)後に特別党大会を開き、副議長、書記長、書記、会計などの役職者を選任すると説明している。

いずれにせよ、外から見ると、プラチャンダが、バタライとNK. シュレスタ(Unity Centre Masal から2009年合流)の反目を利用したことは明白だ。ケンカ両成敗で、バタライに名誉職を与えず、両名とも中央委員降格、議長だけが残った。

これは、少なくとも制度的にはプラチャンダ独裁であり、それが本当に形式的・一時的なものに留まるかどうか、注目される場所である。

\* Republica, Jul.21; ekantipur, Jul.21; Himalayan, Jul.21.

谷川昌幸(C)

2013/07/22 19:51

カテゴリ: [マオイスト](#)

タグ: [Bhattarai](#), [Bogati](#), [Prachanda](#), [Shrestha](#), [党内民主主義](#)

## 中印国境紛争とネパール

中国とインドの国境紛争が激化しつつある。この数ヶ月、中国人民解放軍がラダックの Chumar(印実効支配地域)に繰り返し進入し、監視カメラや防壁などを破壊した。また、中国は中印国境付近で軍用転用可能な道路、鉄道、空港などを整備し、チベットでの軍事演習も活発化させている(The Times of India, Jul.14 ほか印各紙)。



■ラダック(Hindustantimes, Apr.25)

こうした中国の動きに対し、インドは7月17日、内閣安全保障委員会が4~9万人の特別部隊の新設を決定した。中核は「山地攻撃部隊(Mountain Strike corps)」。西ベンガルのPanagarhに本部を置き、部隊は中印国境付近に配備される。The Hindu(Jul.18)によれば、もし中国が攻撃を仕掛けるなら、この部隊が、空軍の支援を受け、チベット自治区内まで攻撃に出ることになる。

中印間のような緊張は、ネパールにも当然、深刻な影響を及ぼす。インドは、7月9日のクルシード外相訪ネの際、2005年以降停止されていた対ネ軍事援助を全面再開することを表明した(India Today, Jul.11)。人民解放軍兵士の国軍統合完了が再開理由だが、このところの中国南下政策も背景にあることは間違いない。(なお、「印ネ平和友好条約1950」により、ネパールは、インド以外からの兵器調達には、インドの了解が必要。)

これに対し中国も、ネパール国軍のガウラブ・ラナ総監を招待した(Telegraph, Jul.19)。ラナ総監は、国軍幹部ら5人を率い7月19日訪中(28日まで)、中国軍幹部らと会い、中国との軍事関係強化を協議する。また、ネパール国軍への移動軍病院2組の援助協定に調印することにもなっている。この移動軍病院施設は、一応、災害救援用となっているが、広義の軍用施設であることはいままでもない。



■国軍訪中団出発(国軍 HP)

また、カトマンズの軍士官学校では、中国人民解放軍将校2名がプレゼンし、そこには駐ネ中国大使や孔子学院(カトマンズ大学)の教官と学生も参加していた(china-defense-mashup)。

中国は、インドが武器・弾薬等を援助するのに対し、いまのところ用心深く軍用/民生用のグレーゾーンに援助を限定している。しかし、ネパール・中国の軍関係者の接触が日常化し、緊密化していることは間違いないであろう。

谷川昌幸(C)

2013/07/21 11:11

カテゴリー: [インド](#), [外交](#), [平和](#), [中国](#)

タグ: [ラダック](#), [軍事援助](#), [国軍](#), [国境紛争](#), [平和友好条約](#)

## 女兒選別中絶の拡大

リパブリカ(7月20日)によれば、ネパールでは、特に都市部において、女兒選別中絶が拡大している。この問題については、すでに何回か指摘したが、この記事は改めてそれを裏付けるものである。(参照: [出生前診断で女兒中絶](#))

調査機関:タパタリ産科病院 CAP-Nepal

調査期間:2012年7月~2013年6月

調査対象:3人目を妊娠した妊婦 288人

- ・胎児が男であることを知っている妊婦 123人
- ・胎児が女であることを知っている妊婦 16人
- ・胎児の性別を知らない妊婦 123人
- ・胎児の性別を知りたいと思っている妊婦 28人

CAPによれば、胎児の性別を知っている妊婦の胎児は、男が123人、女が16人。この顕著な差は、女兒胎児を選別中絶した結果だという。

もしこれが事実だとすると、女性にとって悲惨きわまりないし、またネパールの将来にとっても憂慮すべきことだ。周知のように、ネパールでは(かつての日本と同様)、家族や世間から女兒出産への強い圧力がかかる。しかも、ネパールでも性選別中絶は違法であるにもかかわらず、実際には手術をする医者は処罰されない。法律はあっても適用されないため、違法な性選別中絶が拡大しているのだ。

さらに危惧されるのが、出生前診断の「進歩」により、優秀児選別出産が広まること。ケイタイやWIFIあるいは英語教育などに見られるように、ネパールは日本よりもはるかに「先取的」だ。このままでは、ネパールは生命操作最先進国になるにちがいない。

(注)CAP-Nepal 調査は、小規模で、結果をどこまで一般化できるか不明。CIA(The World Factbook,2013)によると、出生性比(0-14歳)は以下の通り。

- ・ネパール 女100:男104
- ・アメリカ 100: 104
- ・スウェーデン 100: 106
- ・日本 100: 108
- ・韓国 100: 109
- ・インド 100: 113
- ・中国 100: 117

谷川昌幸(C)

2013/07/20 14:51

カテゴリー: [社会](#), [人権](#)

タグ: [出生前診断](#), [性差別](#), [中絶](#)

## バブラム・バタライ, 名誉職の不名誉な駆け引き

統一共産党毛派(UCPN-M)の副議長辞任を表明したバブラム・バタライが、党の名誉職(党長老)を引き受けてもよいと言っている。 kongressの SB・デウバとほぼ同様の地位。党序列2位ながら、党運営権限なし。

しかし、その一方、バタライは、議長と中央委員以外の役職・組織は廃止し、これにより党内対立を根絶せよ、とも要求している。もしこの提案通り党組織が改編されれば、副議長の NK・シュレスタや書記長のボガティは役職を失い、中央委員降格となる。自分は名誉職でいいよ、といいつつも、ちゃっかり計算している。ドロドロの党内権力闘争。

他方、マオイスト本家から分家したモハン・バイダ(キラン)CPN-M 議長は、クルシード印外相訪ネ前夜に訪中し、親印派に親中を見せつけた。ところが、テレグラフ(7月17日)によれば、親印 NC のスシル・コイララ議長は16日、楊厚蘭駐ネ中国大使と会談し、CA 選挙に出るようバイダ議長を説得して欲しいと大使に頼んだのだそう。コイララ議長自身が、NEFIN との会合でこの話をしたというから、本当なのだろう。

親印の kongress議長が、印とは犬猿の仲の中国の大使に、親中 CPN-M の CA 選挙参加説得を依頼する。内政干渉の依頼？

と、かくもネパール諸政党は、政党政治の理念から遠ざかり、複雑怪奇なズブズブの権力闘争にはまり込んだ。その意味でも、CA 選挙は注目される。

谷川昌幸(C)

2013/07/18 19:29

カテゴリー: [マオイスト](#), [選挙](#), [中国](#)

タグ: [Bhattarai](#), [CPN-M](#), [Mohan Baidya](#), [Sushil Koirala](#), [UCPN-M](#)

## 京都の米軍基地(12): 早期受け入れ要請

7月11日、京丹後市議会議員が、市長に対し、米軍 X バンドレーダー基地受け入れ要請を提出した。議員総数22名のうちの、清風クラブ9名、丹政会4名、雄飛会2名、無会派2名の計17名。  
([米軍 X バンド・レーダー配備受け入れについて.pdf](#))

---

京丹後市長 中山泰 様

平成 25 年 7 月 11 日

(清風クラブ代表)吉岡和信, (丹政会代表)三崎政直  
(雄飛会代表)吉岡豊和, (無会派) 足達昌久, 松本聖司

米軍 X バンド・レーダー配備受け入れについて

近年、北朝鮮の長距離弾道ミサイル実験や、周辺諸国による我が国固有の領土・領海への侵入行為などにより、我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増している。そのような中、ミサイル防衛の強化を目的に、日米両政府によって米軍 X バンド・レーダー追加配備計画が合意された。その後平成25年 2 月26日には防衛事務次官が市役所を訪れ、経ヶ岬分屯基地を最優先候補地として検討・調整したい旨の申し入れがあった。

京丹後市民にとっては突然の出来事でもあり、市民の中に戸惑いや不安の声が広がったことについては理解できるものがある。

議会としては基地対策調査特別委員会を設置し、青森県つがる市への視察等を行うとともに、議員全員協議会を3回開催し、防衛省から説明を受け質疑を行ってきた。また、市としても市民説明会を市内各地域で行うとともに、防衛省へ質問状を送り、その都度回答を得てきたところである。

今般、市から各会派及び無会派議員に対し、X バンド・レーダー配備計画について意向の問い掛けを受ける中で、我々は、市民の中にある不安や戸惑いの声に留意し、十分配慮しながらも、我が国を取り巻く国際情勢や日米両政府の合意の重み、過度な沖縄の基地負担などを考えた場合、市民の安心・安全の確保を前提に、京丹後市へのXバンド・レーダー配備はやむを得ないものと考えている。

我々は市に対し、下記の事項を付記し、いたずらに時間をかけることなく、Xバンド・レーダー配備受け入れに向けて総合判断して頂くことを求める。

#### 記

- 1、国に対し、市民の安心・安全の確保について、万全の対策を講じるよう求めること。
- 2、国に対し、日米地位協定の運用の課題等について、日米両政府において引き続き見直しの検討を進めるよう求めること。
- 3、国に対し、民生安定事業等について、地元の不安の声に十分配慮するとともに、事業の拡大を求めること。

以上

---

多少の留保はあれ、これは事実上、地元からの積極的な米軍基地設置要請とみてよいだろう(下記市議会構成参照)。これで丹後の人びとは、福井原発からの安全に加え、米軍基地からの安全にも、細心の注意を払わざるをえなくなる。

原発は都市のため、Xバンドレーダーは米国のため。しかも、原発も米軍も核心部分は不明。その正体不明のものから身を守る！？ — 丹後の人びとは、抽象的な日本国家やはるかかなたの米国ではなく、自分と家族と近隣の人びとの身近で具体的で切実な安全を守るには、これから先、どうすればよいのだろうか？

## 【京丹後市議会(22名)の構成】

清風クラブ(9)◎吉岡和信, 金田琮仁, 谷口雅昭, 中村雅, 芳賀裕治, 藤田太, 堀一郎, 松本経一, 由利敏雄

丹政会(4)◎三崎政直, 池田恵一, 谷津伸幸, 和田正幸

日本共産党(4)◎森勝, 田中邦生, 橋本まり子, 平林智江美

雄飛会(2)◎吉岡豊和, 川村博茂

無会派(3)足達昌久, 岡田修, 松本聖司

## 【参考資料(2013.7.19 追加)】[金田そうじんのフルスイングレポート](#)

「……20代、30代の若い人達から、「金田さん、レーダーいいですよえ」と、切り出されたので、少し驚いて「どう思う？」と返したところ、口ぐちに「賛成です」との意見でした。

日本の国防はアメリカとの日米安全保障条約のもとで衛られている、それがだめなら日本が自ら、防衛費を増やし軍備を整える、場合によっては核武装も視野に、、、以外なことばも出てきました。

「ただ(無料)で平和は得られない、戦後の日本は日米安保条約によって国の防衛に“お金と気”を使わなくてよかったから、世界が驚く程のスピードで経済発展をした」

私もこの考えを持っている者の一人だ、との話をしたり、と、大いにしゃべり合いました。私は、若い人達も国の安全保障について、それぞれの思いを持っていることに、たくましさを感じまし

た。……」([地域のみなさんとの懇談からの 思い『Xバンド・レーダー』より](#))

## 【参考資料(2013.7.19 追加)】 [米軍基地設置反対派のビラ](#)



谷川昌幸(C)

2013/07/17 14:55

カテゴリ: [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [原発](#), [丹後](#), [京丹後](#)

## 鉄道建設計画, 韓国主導へ

ネパール各紙報道によれば、ネパールの鉄道建設が、韓国主導事業となりそうな状況だ。7月9日、韓国鉄道省代表団(12人)がネパール国土交通省事務局長らと会談し、韓国が中心となって鉄道建設計画を立案することになったのだ。検討されているのは、つぎの2路線網。

### (1)東西鉄道 945.24Km

Kakkarbhittha(Jhapa)-Itahari-Bardibas-Simara-Tamsariya-Lumbini-Butwal-Kohalpur-Attariya-Gaddachouki(Mahendranagar)

タイ平原を東から西へ順次鉄道を建設していく大計画。経済効果大。

### (2)首都鉄道

詳細はまだ分からないが、カトマンズ盆地において大量輸送手段としての鉄道は不可欠。

ネパールと韓国は、政府間で早急に「了解覚書」を取り決め、「詳細事業報告」を作成し、この鉄道建設計画を進めていくという。

タイ東西鉄道については、この3月2日、ktm2day.comがインド援助による建設と伝えていたが、今回の各紙報道では、インド援助のことは全くふれられていない。

インド援助を断り、韓国に乗り換えたのだろうか？ もしそうであるなら、政治的にも経済的にも興味深い選択である。



■ Mechi-Mahakali railway project (ktm2day.com, Mar2)

谷川昌幸(C)

2013/07/14 04:05

カテゴリー: [インド](#), [経済](#)

タグ: [タイ](#), [鉄道](#), [韓国](#)

## 印外相、訪ネ9時間の意味深

インドのサルマン・クルシード外相が7月9日、空軍特別機でネパールを公式訪問した。当初、2日間の予定であったが、日帰り9時間の意味深訪ネ。

9時間の滞在中、印外相は、ヤダブ大統領、レグミ内閣議長(暫定首相)、MP・ギミレ外相と会談し、国境地帯犯罪取締りや逃亡犯引渡条約、そして安全保障や水資源開発、洪水対策などについて協議した。



■クルシード外相とヤダブ大統領(在ネ印大使館 HP より)

インドの対ネ政策は、つねにパキスタンや中国の動きを念頭に置いている。今回も、印外相は、パキスタンの ISI や「テロリスト」の動きを警戒し、ネパールを利用したニセ通貨の持ち込みやテロ活動の取り締まり強化をネパール側に要求したらしい。

対テロ対策としては、以前からインド側はトリブバン空港管理のインド委託を要求していた([TIA 空港, インド管理へ?](#))。もしこれが実現すれば、パキスタンばかりか、中国や米国、そしてたまには日本の動きも、事実上、監視できる。ネパールを属国扱いするトンデモナイ大国主義的要求だが、逆に言えば、それだけインド側の危機感は強いということだろう。いまのところ、ネパールはこの要求を拒否している。

しかし、そうはいつでも印ネ関係は切っても切れない腐れ縁。ネパールにとって、インドは対外貿易の三分の二、対ネ外国投資の約半分を占め、インド抜きでは生きて行けない。だから、わずか9時間の訪問であっても、ネパール側は大統領、首相、外相が会談し、主要諸政党の党首らもこぞって拝謁の榮に浴した。豪傑プラチャンダ UCPN-M 議長ですら、シンガポール滞在中にもかかわらず、わざわざ帰国し、はせ参じた。KP・シタウラ NC 書記長によれば、印外相は「ネパールの政治的安定を保証しうるのは、インドだけだ」と語ったという(THT, Jul9)。いかに屈辱的であれ、これがネパールの現実なのだ。

とはいえ、インド側が大国主義的にネパールを威圧しすぎると、反印感情を刺激し、中国や欧米への接近を招く。今回も、CPN-M は、露骨な反印・親中行動に出た。印外相訪ネの前夜、モハン・バイダ(キラン)議長と CP・ガジュレル副議長が北京へ向け出国したのだ。日本における反中・反韓以上に、反印はネパールでは国民のナショナリズムを高揚させる。

そういうこともあって、印外相は、かなり重要な援助を約束した。

#### (1)車両援助

内務省(治安対策) 716 台

選挙管理委員会(制憲議会選挙用) 48 台

#### (2)軍事援助

兵器供与(詳細不明), 軍事教育, 共同演習

#### (3)制憲議会選挙支援

インドは、パキスタン・中国を念頭に、制憲議会選挙(11月19日予定)の実施を強く要求している。先日、親中派頭目の[バブラム・バタライ UCPN-M 副議長が辞任した](#)し、選挙反対の CPN-M 幹部は印外相訪ネにあわせ訪中した。インドとしては、何としてでも印指導下に制憲議会選挙を成功させ、親印安定政府をつくり、中国の南下やパキスタンの「テロ」を封じ込めたいということだろう。



[参照] *Indian Times*, Jul9; *Nepalnews.com*, Jul9; *The Himalayan Times*, Jul9; *Telegraph*, nd(access, Jul10); *People's Review*, nd(access, Jul10)

谷川昌幸(C)

2013/07/11 11:25

カテゴリ: [インド](#), [選挙](#), [外交](#)

タグ: [トリブバン空港](#), [レグミ首相](#), [ISI](#), [Mohan Vaidya](#), [Salman Khurshid](#), [制憲議会選挙](#), [大統領](#)

## バブラム・バタライ, UCPN 副議長辞任表明

統一共産党マオイスト(UCPN-M)のバブラム・バタライが6月29日、党副議長辞任を表明した。バタライは、党内ではプラチャンダ議長に次ぐ実力者であり、このまま辞任し、もし離党ともなれば、マオイストにとって、2012年6月のモハン・バイダ(キラン)副議長辞任(辞任後、共産党マオイストCPN-M結成)以上の大打撃となるであろう。

バタライは、29日の党中央委員会において、突然、副議長辞任を表明した。本人はその理由を次のように説明している。

「党内には利己的野心が広がっている。だから党のためを思い、副議長の職を辞することにした。」(THT, Jun29)

「党指導を若い世代に引き継ぐプロセスを始めるため」辞任する(ekantipur, Jun30)。

「私の辞任は取り引きのためではない。遅かれ早かれ、われわれは辞任せざるをえない。いまがその時だと私は考えた。」(Telegraph, nd)

バタライのこのような説明は、もちろん誰も真に受けない。マオイストは、党内派閥対立のため、この2月の党大会において主要役職人事を決められなかった。ところが、制憲議会選挙が11月実施となり、これ以上人事の先送りはできないため、中央委員会などで人事を進めようとした。ところが、具体的な人事案が出されると、危惧されたとおり、それらをめぐって激しい派閥抗争が始まった。バタライの副議長辞任がこの人事抗争に関わるものであることはいままでもない。

辞任理由の説明は、いくつかある。一つは、プラチャンダら党幹部の身内えこひいき、特に妻のヒシラ・ヤミを党会計に就けようとしたバタライの動きが、大多数の中央委員の激しい反発を招いたため(ekantipur, Jun30)。この説であれば、プラチャンダとバブラムは同じ穴の貉ということになる。

二つ目は、プラチャンダ議長とナラヤンカジ・シュレスタ副議長が接近し、その線に沿った人事案にバタライ副議長が反発したとする説(Gorkhapatra, nd)。三つ目は、プラチャンダ議長が6月26日、バハドール・ボガティ暫定書記長を副議長に、KB.マハラを書記長にすることを提案し、これにバタライが反発したという説(Kathmandu Post, Jun26)。

バタライ辞任については、他にもいくつか説があるが、いずれにせよバタライは辞任を公言したのであり、撤回は難しいとみられている。プラチャンダはこう述べている。

「バブラム・ジに辞職撤回を求め一時間ほど話したが、彼は撤回に応じようとはしなかった。党議長のポストを提案してみたが、それでもバブラム・ジは私の提案を拒絶した。」(Telegraph, Jun30)

もともとプラチャンダとバタライはそれぞれ別の政党を率いていたのであり、両者の対立はマオイスト結成当時から続いてきた。マオイスト運動の宿痾とも言えるが、さりとして、もしプラチャンダがバタライ派を切り捨てると、マオイストは一気に弱体化する。一方、バタライ派も、分離独立するには力不足であり、リスクが大きすぎる。

結局、ekanitipur(Jul3)がいうように、副議長ではなく、党内序列第2位相当の別の役職をつくり、とりあえずそこにバタライを祭り上げるとするのがプラチャンダにとって、またバタライ自身にとっても、良策ということになるであろう。



■ バブラム・バタライのフェイスブック

谷川昌幸(C)

2013/07/09 04:53

カテゴリー: [マオイスト](#)

タグ: [Bhattarai](#), [Mohan Baidya](#), [nepotism](#), [Prachanda](#)

## 京都の米軍基地(11): 議会審議(6月20, 21日)

### ●平成25年6月定例会(6月20日)一般質問

森 勝 議員(日本共産党) →→[録音再生\(ユーチューブ\)](#)

#### 2 経ヶ岬の米軍基地への対応について

(1) 基本的考え方と今後の対応について

### ●平成25年6月定例会(6月21日)一般質問

吉岡 和信 議員(清風クラブ) →→[録音再生\(ユーチューブ\)](#)

#### 1 Xバンド・レーダー配備について

(1) 袖志・尾和地区への不安に、具体策をもって理解を求めているのか

(2) 我が国安全保障について

(3) 憲法改正の是非について

谷川昌幸(C)

2013/07/06 20:51

カテゴリー: [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [丹後](#)

## 京都の米軍基地(10):議会審議(6月7, 19日)

### ●議員全員協議会(6月7日) → [審議再生\(YouTube\)](#) [前半](#) [後半](#)

- 1 議長あいさつ
- 2 協議会記録署名議員の指名
- 3 協議事項

(1)航空自衛隊経ヶ岬分屯基地への米軍Xバンド・レーダーの配備計画について

### ●平成25年6月定例会(6月19日)一般質問

#### ▼谷津伸幸 議員(丹政会) → [審議再生\(YouTube\)](#)

#### 1 米軍Xバンド・レーダー配備と将来のあるまちづくり

- (1)配備により地元へ与える影響について
- (2)市民の安心安全確保のための対策
- (3)将来のあるまちづくり
- (4)国防に対する市長の考え

#### ▼池田恵一 議員(丹政会) → [審議再生\(YouTube\)](#)

#### 1 Xバンド・レーダーに同意するのか

- (1)市民の安心・安全は
- (2)地元の同意は
- (3)今後の手続きは

#### ▼田中邦生 議員(日本共産党) → [審議再生\(YouTube\)](#)

#### 1 米軍基地問題について

- (1)青森県の米軍車力通信所の視察で何を教訓にしたのか
- (2)環境や健康への影響が懸念される、独自の調査を実施すべきである
- (3)「米軍基地だのみ」で暮らしと経済の立て直しができるか
- (4)アメリカのミサイル防衛計画であり日本防衛のためではない
- (5)際限ない軍事的な対抗措置でなく平和外交でこそ守れる
- (6)アメリカ言いなりの「日米合意」にもとづく、住民不在の一方的なもの
- (7)住民の安心・安全への懸念の払拭と納得なしの設置強行は許されない

[参照] [京丹後市に『Xバンドレーダー』の追加配備検討\(ニコニコ動画\)](#)

谷川昌幸(C)

2013/07/05 16:53

カテゴリー: [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [丹後](#)

## 政党シンボルマーク候補決定

ネパール選挙管理委員会は6月29日、制憲議会選挙(11月19日予定)のための政党シンボルマークを決定した。総数197!

旧制憲議会の政党は76あり、そのうちの52政党は以前と同じシンボルマークを使用する。他の政党は、政党登録の際、希望シンボルを3つ申請し、先着順にいずれか一つを選管により割り当てられる。

しかし、これはいささか乱暴だ。シンボルは単なる記号ではなく、重要な政治メッセージを表現する。選管があらかじめシンボルマーク候補を決めてしまうのは、原理的に政治的自由、政党の自律に反する。いかにも官僚親権主義政府らしいやりかただ。

新聞記事によると、政党の中には、ネパール国旗、コンドーム(リンブー解放戦線)など、ちょっとどうかなと思われるようなシンボルマーク希望もあるが、一見明白な公序良俗侵害でない限り、選挙民の判断に任せるべきであろう。

[前回選挙の政党シンボルマーク]



谷川昌幸(C)

2013/07/02 21:02

カテゴリ: [選挙](#), [政党](#)

タグ: [識字率](#), [政党シンボルマーク](#)

## 信号機かロータリーか:ネパールとスイス

### 1. 道路近代化批判

ネパタイムズ(6月28日号)が、道路新設・拡幅政策を批判している。都市部でいくら道路を建設しても、流入車両が増えるだけで、何ら問題解決にはならない。また、「日本援助信号機は、ほとんど機能していない。」

以前、信号機全滅と紹介したら、「そんなことはない」と叱られたが、ネパールの人びとから見れば、日本援助信号機はやはり役立たずの木偶の坊なのだ。

ネパールの交差点の多くは、文化に適合したロータリー(ラウンドアバウト)式であったのに、それらをやみくもに撤去し、一見合理的な信号機式交差点に近代化したため、この惨状となってしまったのだ。

カトマンズ盆地は狭く、徒歩・自転車ではぼ間に合う。電車、トロリーバス、地下鉄など、低公害公共交通機関の導入を進める一方、道路幅を狭くし、ロータリー式でさばける程度にまで車両数を削減すべきだろう。日本援助信号機は撤去し、古き良きロータリー式に戻す。

[参照] [▼信号](#)

[▼信号機、ほぼ全滅\(5\):王宮博物館前](#)

[▼信号機、ほぼ全滅\(4\):カランキ交差点\(付:タタの威厳\)](#)

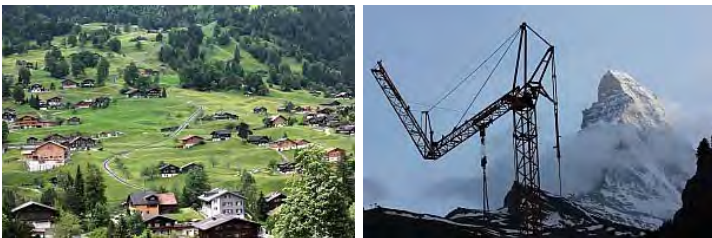
[▼信号機、ほぼ全滅\(3\):「日本に学べ」](#)

[▼信号機、ほぼ全滅\(2\):タパタリ交差点ほか](#)

[▼信号機、ほぼ全滅\(1\):アメリカンクラブ前](#)

## 2. スイスのロータリー文化

見習うべきモデルの一つが、スイス。先日、単なる団体観光旅行にすぎないが、10日間ほど、スイスに行ってきた。大部分がバス移動。



### ■ネパールそっくりの山村風景／夕暮れのマッターホルン

感心したのが、多くの交差点がロータリー式であったこと。既存の信号機交差点も、順次、ロータリー式に改造されつつあるという。

幾度か紹介したが、日本では、交通量の少ない道路でも、深夜の人っ子 1 人いない田舎道でさえ、赤信号で停車し、青を待つ。時間とエネルギーのたいへんな浪費だ。これに対し、スイス・ロータリー式交差点では、ほとんど待つことはなかった。少々交通量が多くても、共有されているロータリー通行規則に自主的に従い、スムーズに通過できた。

スイスは、ネパールにとって、自然環境や多民族状況、そして大国に囲まれた内陸国という地政学的位置など、多くの点でよく似ており、連邦制、多言語主義など、学ぶべきものは多い。ただし、

民族自治，地域自治などは，決して近代的な新しいものではない。むしろ本質的に前近代的な，古いものである。その古いものの全否定ではなく，保守すべきものは保守しつつ，生活を豊かにしていく。女性の権利など，問題は多々あるにせよ，頑固な保守主義の国であるがゆえ，スイスは多民族多文化民主主義のモデル国の一つとなり得ているのである。

なお，蛇足ながら，自然環境や地域景観についても，スイスは保守主義に立ち，保存を開発と両立させる努力をしている。フランス領のシャモニーにも立ち寄ったが，スイスとの違いに愕然，幻滅した。近代合理主義の宗主国フランスは，自然と伝統を克服すべきものと見ている。他の地域はどうか知らないが，少なくともシャモニー付近の景観は，フランス国民文化のスイスのそれとの相違を際立たせ，その意味では興味深かった。



■ インターラーケン「ゲマインデハウス」前／ヴィルダースヴィル



■ 幹線道路交差点／ベルンの路面電車とバス

谷川昌幸(C)

2013/07/01 11:41

カテゴリ: [社会](#), [文化](#), [旅行](#), [民族](#)

タグ: [スイス](#), [ロータリー](#), [連邦制](#), [自然](#), [多文化](#), [伝統](#), [信号](#)